

リーディングDXスクール事業【実践事例】

洲本市立大野小学校(兵庫県)【指定校】

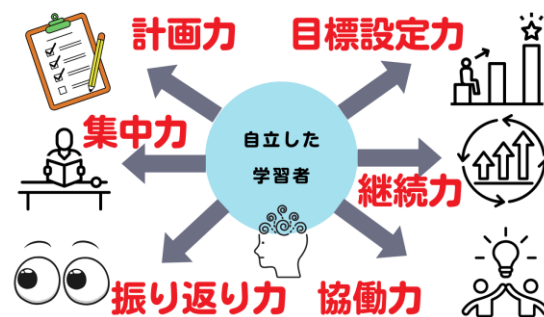
【取組内容】「自分にぴったりの学び方をみにつけよう！～『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実～」

【概要】今年度本校では、「自分にぴったりの学び方をみにつけよう！～『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実～」を研究テーマに、授業改善に取り組んでいます。

探求のサイクル



自立した学習者の育成



学習形態の選択



探求のサイクルの活用

- ① 課題の設定: 学習の目標や自分の疑問をもとに、課題を決めます。
- ② 情報の収集: 教科書を読んだり、友達と話し合ったり、タブレットや他の資料を用いたりしながら、課題解決につながる情報を集めます。
- ③ 整理・分析: 集めた情報をもとに考えを整理し、課題に対する自分の考えを見出します。
- ④ まとめ・表現: 課題に対して分かったことや学んだことをまとめます。また、他者に伝えることで、より理解を深めます。
- ⑤ 振り返り: 学んだ内容と自分の学び方を振り返り、次回へ活かします。

自立した学習者の力とは

- ① 目標設定力: 自分が興味を持つテーマや問題について、自ら探求しようとする力
- ② 集中力: 学習することの意義や価値、楽しみをうまく見出す力
- ③ 計画力: 学びを進めるために、自分で目標を設定し、計画を立てて行動する力
- ④ 継続力: うまくいかないことがあっても諦めず、挑戦を続ける力
- ⑤ 協働力: 他の子どもたちと一緒に学び、意見を交換しお互いに成長し合う力
- ⑥ 振り返り力: 学びの成果やプロセスを振り返り次に生かすための改善点を考える力

学習過程を示し課題を選択

教材 1年生 国語科 教科書p.102～p.109
教材名「やくそく」(6/8)時間

パフォーマンス課題: 声優さんにチャレンジ！
～あおむしにぴったりの読み方は？～

<評価>

S: あおむしたちの気持ちに合わせて、大小・強弱・速さ・喜怒哀楽を工夫し読むことができる。

A: あおむしたちの気持ちを想像し読むことができる。

<児童の学習過程>

課題の設定: 前時の振り返り、今日の課題を知り学習計画を相談する。

情報の収集: 叙述をもとに、あおむしの気持ちを想像し伝え合う。気持ちシート

整理・分析: 気持ちに合わせた読み方を考える。読み方・振り返りシート

まとめ・表現: 読む練習をし、動画で撮影し、それを元に目標達成度を振り返る。動画

リーディングDXスクール事業【実践事例】

洲本市立大野小学校(兵庫県)【指定校】

【取組内容】 自立した学習者になるための情報活用能力の育成

【概要】今年度本校では、「自分にぴったりの学び方をみにつけよう！～『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実～」を研究テーマに、授業改善に取り組んでいます。その中で、児童一人ひとりが自立した学習者となるために必要な情報活用能力の育成に関する実践を2つ紹介します。

実践①探求のサイクルを活用し自ら学ぶ児童の育成



自立した学習者の育成



↖ 探求のサイクル
↑ 自立した学習者
← 学習の手引き (Google Classroom)

実践②児童会主催
タイピングコンテスト

実践①では、全学年で探求のサイクル・学習の手引きを活用し、情報活用能力の育成に努めています。

実践②では児童会主催の大野小タイピングコンテストを開催しました。タイピングサイトを利用し、3分間で何文字タイピングできるのかを学年内で競う取組です。児童は休み時間等を活用し、コンテストに向けて練習をしていました。

ちやれんじみっしょん②のぼめの「おすすめポイント」をさがそう！

めあて①：おはなしを しっかりよむ。

めあて②：ぼめんわけを する。

めあて③：「ふしぎ」をかいけつする。

★めあて④：「おすすめポイント」ランキングをつける。

がくしゅうのプロセス

①やることのかくにん...【クラスルーム】

②じょうほうを あつめる...きょうかじょうから 「おすすめポイント」を見つかる。【きょうかじょう】
ともだちに せつめいしたり きいたりする。【きょうかじょう】

③じょうほうをせりする...みんなで「おすすめポイント」をあつめる。
なんに見つかかな？

④まとめ・ひょうげん...「②のぼめの おすすめポイントは、①～ ②～ ③～」と かく【ノート】

⑤ふりかえり...ふりかえり【ノート】

リーディングDXスクール事業【実践事例】

洲本市立大野小学校(兵庫県)【指定校】

【取組内容】 保護者も教員もDX化で業務改善へ！

【概要】今年度、授業改善と合わせてDX化における業務改善に取り組んでいます。1秒でも長く児童と向き合う時間を確保するために汎用的アプリを用いた取組を2例紹介します。

まとめるだけでも大助かり！Googleサイトの活用

生成AI×汎用アプリで児童の声を聞く



大野小 教職員サイト



職員がよく使うリンクの一覧をGoogle Sitesにまとめて共有



大野小学校サイト



当面の予定や学校だより等、保護者や地域に向けた情報をGoogle Sitesで発信している。

「あれ？あのサイトどうやって行けばいいんだっけ？」「〇〇先生、デジタル教科書って…」という悩み事に対応するため、先生たちがよく使うサイトをGoogleサイトでまとめました。保護者の方には大野小学校サイト「せんだんの木」をお伝えし、今後の予定や学校だよりなどにアクセスしてもらいやすくなりました。

また、児童の声を聞くために「せんせいあのねフォーム」を導入しました。回答があった場合、指定アドレスにメールが送信されます。自動化のコードは生成AIを活用し作成しました。

「せんせい あのね」フォーム

おはなしたいひと・おはなしをきいてほしいひとは、フォームからおくってね。

アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

学年 *

選択

なまえ *

回答を入力

はなしたいこと *

回答を入力

きいてほしいひと *

☐ たんにんのせんせい

☐ ほけんしつのせんせい

☐ こうちょうせんせい

☐ きょうとうせんせい

☐ スクールカウンセラーのせんせい

☐ その他: _____

送信

フォームをクリア